



2021年11月19日

各 位

会社名 株式会社 マルマエ
代表者名 代表取締役社長 前田 俊一
(コード番号: 6264 東証第一部)
問合せ先 管理本部長 下舞 毅
(TEL. 0996-68-1140)

2021年10月度 月次受注残高についてのお知らせ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクロージャーを推進しておりますが、その一環として、下記のとおり2021年10月度の月次受注残高を開示いたします。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
半導体分野	1,486	69.1%	6.3%	132.7%
F P D分野	620	28.8%	16.4%	252.3%
その他分野	43	2.0%	△35.4%	△10.9%
合計	2,151	100.0%	7.5%	148.9%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4
半導体分野	589	654	696	697	753	991
F P D分野	195	205	225	324	499	512
その他分野	41	23	88	55	27	8
合計	826	883	1,010	1,077	1,280	1,512

区分	2021/5	2021/6	2021/7	2021/8	2021/9	2021/10
半導体分野	979	1,095	1,122	1,209	1,399	1,486
F P D分野	531	499	478	527	533	620
その他分野	27	26	34	67	67	43
合計	1,538	1,621	1,635	1,804	2,000	2,151

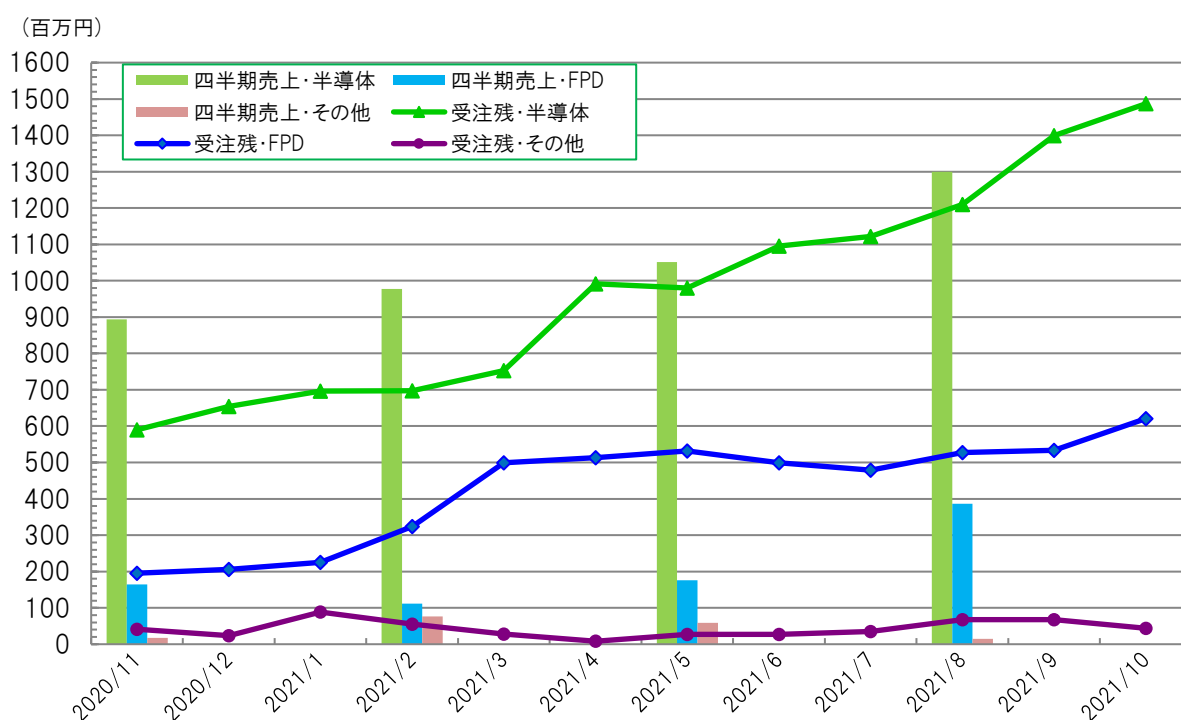
3. 月次受注残高の概況

2021年10月末の受注残高は、半導体分野においては、受注と出荷検収共に過去最高額を更新したことから、対前月増減率は6.3%増、対前年同月増減率では132.7%増の1,486百万円となりました。FPD分野においても、先月に引き続き受注と出荷検収が好調であったことから、対前月増減率は16.4%増、対前年同月増減率では252.3%増の620百万円となりました。その他分野においては、出荷検収が好調に推移したことから、対前月増減率は35.4%減、対前年同月増減率では10.9%減の43百万円となりました。これらの結果、2021年10月末の受注残高は、対前月増減率7.5%増、対前年同月増減率148.9%増の2,151百万円となりました。

今後の見通しといたしましては、半導体分野につきましては、好調な市場環境のなか当社の生産能力確保のため、一部に長期間の前倒し発注が行われていますが、本質的には当社のシェアと生産能力の拡大によるものであることから、今後も一時的な山谷はありながらも、しばらくは好調に推移すると予想しております。FPD分野では、中小型OLED向けと液晶製造用消耗部品を中心に、好調な受注が予想されます。その他分野におきましては、太陽電池製造装置向けの引き合いがあり受注に向けた活動を行ってまいります。

以上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短く当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。

3. 当社は、一部の取引で、得意先から材料を仕入れる有償支給取引を行っています。従来は売上高に有償支給材料の費用を含めて表示しておりましたが、当期より「収益認識に関する会計基準」を適用することにより、売上高から有償支給材料を除いた純額で表示することになります。

現時点の月次受注残高には9百万円の有償支給取引額が含まれています。なお、利益額に対する影響はありません。